

算数科

学年	課題となる観点	問題番号・出題のねらい ＜学習指導要領＞	自校正答率 【全国比】	児童の誤答の傾向と分析（○） 教育指導上の要因分析（●）	課題改善のための《指導場面（指導時期）》と具体的な取組	目標値	検証値 【6月調査比】
2年	数学的な考え方	16 加法の式に合った文章問題を選ぶことができる。 ＜小学校1年 A数と計算（2）イ＞	55.0% 【+14.9P】	○「求補の場面を選んでいる場合」を解答する傾向が見られた。これは、問題文中にある演算決定する語句を十分に理解していなかったためと考えられる。 ●問題文中の加法と減法の演算決定の言葉を見つける指導や加法と減法の演算決定の言葉を使った問題づくりの指導が不十分であった。	《数と計算に関わる授業（9月・10月・12月）》 ・文章題の計算活動を行うときに、演算決定の言葉を見つける活動を加え、何算になりそうかを考える活動を取り入れる。また、演算決定に関わる言葉について区別する活動を取り入れ、区別したものは掲示しておく。 ・問題文・図・式を結んで説明する活動を取り入れ、図から演算決定をしていけるような活動を仕組む。	正答率 70%	正答率 100% 【+45P】
3年	数量や図形についての技能	16 (2) 直角三角形の特徴を理解し、他の図形から弁別できる。 ＜小学校2年 C測定（1）イ＞	70.6% 【-2.2P】	○4つの図形の中から直角三角形を選ぶ問題では、直角三角形の特徴（1つの角が直角になっている三角形）から選ぶことができていない。これは、直角三角形の特徴を理解していない、もしくは忘れてしまっているためだと考えられる。 ●3年生になってから、2年次の図形問題の復習をしていないためだと考えられる。	《図形についての授業（10月・1月）》 図形の問題において、用語の意味を理解させたり、作図などを通してその図形の性質を理解させたりする。 《図形を作図したり、特徴を書く活動（通年）》 図形の特徴を理解した上で2年次に学習した図形や、3年次に新しく学習した図形を作図する活動を継続して行う。	正答率 80%	正答率 94.1% 【+23.5P】
4年	数学的な考え方	15 (1) 与えられた情報から、東町に着く時刻を求めることができる。 ＜小学校3年 B(3)イ＞	12.5% 【-7.1P】	○問題文を正しく読み取り、時刻に反映させて考えることができていない。 ●問題文を繰り返し読んで、書き込んだりメモをしたりしながら考えさせる必要がある。	《書き込んだり、メモしたりしながら考える場面（通年）》 問題文の中に線を引いたり大事な言葉に印をつけたりして書き込みながら考えさせたり、問題を読み上げてメモさせたりする指導の工夫をする。 《時刻をとらえる学習場面（通年）》 時刻を逆算して考えたり、見通しを持って活動させたりするようにする。時計を見て行動させるようにする。	正答率 50%	正答率 67% 【+54.5P】
5年	数学的な考え方	18 (2) 三角形を組み合わせてできた四角形がひし形になることを説明することができる。 ＜小学校4年 C図形（1）イ＞	26.3% 【+17.6P】	○ひし形の定義が理解できておらず、説明の中に定義が書けていない。他の図形も含めて、図形の定義が十分理解できていないと考えられる。また、定義と特徴が混ざって曖昧になっており、正しい定義が理解できていないと考えられる。 ●図形の定義を、何となくの意味ではなく、正しい言葉で押さえる指導が不十分だった。	《図形の学習（7月・10月・2月）》 作図を指導する際は、図形の定義を思い出させ、意味を理解しながら作図することができるようにする。また、図形が関係した問題では、図形の定義を思い出させ、繰り返し言わせる。	正答率 70%	正答率 78% 【+51.7P】
6年	数量や図形についての技能	17 (2) 速さの単位を理解し、時速を分速に直すことができる。 ＜小学校5年 C変化と関係（2）ア知識及び技能（ア）＞	25.0% 【-9.6P】	○「時速3kmは分速何mですか。」という設問に対する正答率が低く、誤答の中で選択肢1「分速300m」を選んでいるものが70.0%と多い。このことから3kmを3000mと分速の単位に揃えることと、分速=時速÷60秒という公式が理解できていなかったと考えられる。 ●時速と分速の関係についての指導が不十分であった。	《プリント・eライブラリ（通年）》 本学年で取り扱う内容だけでなく、第5学年までの内容に対してもスキルタイムや宿題プリント、パソコン教室のeライブラリを活用し復習する活動を継続して行う。	正答率 70%	正答率 95.0% 【+70P】